

第3回 虹色ファーム de バザール

一昨年より始まり、今年3回目の開催です。いまだ続くコロナ禍の中、回を重ねる度工夫を凝らして外で楽しく過ごせるイベントとなりました。参加人数も去年より多く、お友達同士や子供連れのご家族も見られました。まだ参加したことのない方はぜひ次回のご参加をお待ちしています。



手話歌



虹色ファーム
好評の採れたて野菜
や鉢植えの販売



ビンゴ大会

手芸部 手芸品や
リメイク用の着物の
販売で賑わいました



かまどの
カレー



熱々のカレー
をどうぞ！
来場者に配ら
れました



CHF K³ の演奏
BGMやイントロクイズでも
大活躍しました



虹色ファーム冬の作業 day 12/6

あいにくの冷たい小雨で、集まっていただけなのは、男性2名女性3名の方々でした。畑の手入れ、木の枝の始末など、少人数でやれる範囲の作業をやりました。作業後、今回はほっと cafe のおかずと共に、通所生の齋藤さんのお父さんの手打ちそばをととても美味しくいただきました。齋藤さんありがとうございました。次回の春の作業 day には、皆様の奮ってのご参加をお待ちしています。(M)



・春の作業 day 3/7(火)



第1回ふくしまつり 11/23

雨の為外でのイベントは中止になりましたが映画上映は予定通り行われました。

「長いお別れ」と言う70歳で認知症を患い約10年間の闘病生活を支えた家族の葛藤を描いた映画でした。あらすじの一部は父の70歳の誕生日で久しぶりに集まった娘たちは、厳格な父が認知症になったという事実を告げられる。日に日に記憶を失い、父でも夫でもなくなっていく昇平の様子に戸惑いながらも、そんな昇平と向き合うことで、おのおのが自分自身を見つめなおしていく。そんな中、家族の誰もが忘れていた思い出が、昇平の中で息づいていることがわかり家族のつながりを見い出していくと言うストーリーです。現在の世の中では誰しもが罹り易い認知症です。他人ごとではないな〜と思いながら鑑賞しました。(小川)

第2回県西家連連絡協議会 12/6

県西地区の各団体が集まり近況報告をしました。古河からはNPO 三浦副理事長、家族会秋山会長が出席し、『ふれあい通信』や『すずらん会だより』を配り活動報告をしました。次回は6月に古河で行われます。

第3回 虹色ファーム de バザール

11.5



ほっと Cafe 販売コーナー

感染対策を万全にして販売。通所生のイラストも好評でした



ビンゴ大会

たくさんのお客様に参加いただき
盛り上がりました



手話歌

「明日があるさ」「いい日旅立ち」



直前まで天気心配されていましたが、無事開催することができました。

通所生は手話歌の後は自由散策となり、思い思いの場所で過ごしていました。

ビンゴ大会は想像以上の参加者がいたため多少の混乱がありましたが、今後はよりお楽しみ頂けるよう運営に活かしたいと思います。

手話歌は「明日があるさ」「いい日旅立ち」の二曲を手話歌で披露しました。

先生が不在につき始まる前は不安な様子も見られましたが、練習の成果を無事出しきる事ができ、終了後はみんなほっとしたようでした。(羽兼)

古河広報 12月号に地域活動支援センターふれあいのメンバーの写真が掲載されました。地域生活の中で頑張っている姿がご覧いただけます。

家具の固定が完成しました

毎年 11 月に避難訓練を行います。その際に防災用品や家具の転倒の危険がないか防災チェックを実施しています。しっかり固定して安心です

トマトソースにホワイトソースがかかったちょっとおしゃれなおムライスです。トマトのほどよい酸味とホワイトソースでコクのある味わいが楽しめます。ぜひお試しください。(横山)

■ 研修報告 ■

令和4年11月19日(土) 10:00~12:10 福祉の森会館

古河市児童発達支援講演会
親が変われば子ども変わる
— 子供の力を引き出す脳育で —
立教大学教授・子育て科学アクシス代表
小児科専門医・公認心理師
成田 奈緒子氏

小児科専門医・公認心理師の成田奈緒子先生を講師に迎えた古河市児童発達支援講演会に参加しました。始終テンポよくお話が進みあっという間の2時間でした。

講師の信念である「親が変わると子どもが変わる」をベースに、親のやるべきことなどをわかりやすく具体例を交えながらお話ししていただきました。

子供の力を引き出すためには、まず生活を変えてからだの脳を育てておくことが重要で、そのために軸のぶれないペアレンティングを親が行うことが必要となります。その結果育てにくい子どもも定型発達の子と差がなくなるほど伸びることができるといいます。この結果は講師が代表を務める「子育て科学アクシス」のデータに出ています。

科学アクシスで行っている、脳トレなどを用いて自分評価しつつ、信頼できる他者からのアドバイスを定期的に受け続けることが脳機能とレジリエンスを同時に改善することができる方法。科学的根拠に基づいたお話は大変参考になり、講演終了後には「よい内容だった」「参考になった」の声が参加者から多数聞こえました。

(山崎)

